

## 令和5年度事業計画

新型コロナウイルス感染症が国内で確認されてから 3 年が経過し、国は高齢者・重症化リスクのある者に対する適切な医療の提供を中心とする考え方に転換し、新型コロナウイルスへの対応と社会経済活動の両立をより強固なものとした With コロナ(新型コロナウイルスとの併存)に向けた新たな段階に移行することを決定しました。

そのような社会情勢の中、当センターの運営状況はコロナの影響を大きく受けて落ち込んだ事業実績や会員数もようやく持ち直しの兆しが見えてきたところでありますが、超高齢社会に向かって急速に歩みを進めている我が国で、地域高齢者福祉の担い手としてセンターの役割を果たすことが求められており、そうした期待に応えていくとともに、コロナ禍での多様な働き方や新しい生活様式に対応して必要となる業務を発掘していくことが必要であります。

当センターの会員数は、平成29年度の 2,149 人をピークに減少の傾向が続いており、会員の増員は早急に取り組まなければならない課題であります。

女性会員の割合は全体の約 3 分の 1 で推移していますが、我が国の高齢者人口の男女割合等からみて女性の割合を増やす余地はあるものと考えられ、女性会員の拡大に取り組むことは会員増員に有効な手段であるといえます。

このようなセンターの課題を把握するとともに、センターを取り巻く諸環境の変化を予測し、重点的に実施すべき施策を明確にし、センターの着実な発展を目指すことを目的として策定した「入間東部シルバー人材センター中期計画」が本年度スタートします。計画期間である 5 年間で掲げた目標を達成するためには、様々な施策を着実に実行していかなければなりません。

本年 10 月より開始されるインボイス制度に対応するため、事務費の値上げを予定しており、センターを取り巻く環境は厳しくなることが予想されますが、令和 5 年度においては、中期計画に基づき会員の拡大、高齢者の雇用促進や多様な就業機会の確保を図るとともに、会員がいつまでも健康で就業できるよう、フレイル予防の取組みやサークル活動など、生きがいを推進してまいります。

### 中期計画における令和5年度の目標

【会員数】	【契約金額】		【受注件数】	
2,095 人	請負契約	8 億 7,800 万円	請負契約	3,100 件
	派遣契約	2 億 7,500 万円	派遣契約	270 件
	合計	11 億 5,300 万円	合計	3,370 件

### 【安全・適正就業】

毎年7月に実施する「安全就業強化月間」の期間中は、傷害事故、賠償事故ともに事故件数「0」にする。

- 1 事故0を目指して、安全就業対策を進めます
  - ① フレイル予防のための会員向け健康体力測定を実施
  - ② 仕事別グループによる就業現場の安全管理の推進
  - ③ 安全委員会による就業現場の巡回による安全確認の実施
  - ④ 事故防止の意識啓発を目的として、傷害事故、賠償事故事例を安全だよりやセンターホームページ等で周知
  - ⑤ 安全担当者による作業道具、機材の使用方法、点検管理の推進
  - ⑥ 各種講習会の開催
  
- 2 シルバー人材センターらしい仕事を目指して、適正就業を推進します
  - ① 会員とセンター間における報告・連絡・相談の徹底
  - ② 仕事別グループ運営の指針による運営の自己チェックの推進
  - ③ 就業交替制度の新たな対象業種の検討、追加
  - ④ 請負・委任からシルバー派遣事業への切替えについて調査・実施
  - ⑤ 各種講習会の開催
  
- 3 あらゆる機会を通じて、就業機会を確保します
  - ① 定期的に営業会議を開催し、効果的な営業活動の展開
  - ② 指定管理者等、公共事業の着実な受託
  - ③ 家事援助事業の積極的な展開
  - ④ 新しい生活様式に対応して必要となる業務の発掘
  
- 4 強固な組織づくりを進めます
  - ① インボイス制度に対する適切な対応
  - ② 女性会員の更なる拡大に向けた取組みの推進
  - ③ 現在の社会情勢に対応した効率的な組織運営について研究
  - ④ 財政基盤の確立
  
- 5 会員の融和を進めます
  - ① 現在の社会情勢に配慮した各種イベントの開催方法の検討
  - ② サークル活動の支援
  - ③ ボランティア活動の推進
  
- 6 積極的なPR活動を推進します
  - ① 各種行事への参加
  - ② センターのPRチラシ等の作成、活用
  - ③ 市町広報紙の活用
  - ④ 会員への事業運営状況の周知
  - ⑤ センターホームページの充実等デジタル化の推進